



東北大学

配付先：宮城県政記者会

平成21年7月3日

報道機関各位

国立大学法人 東北大学

文部科学省 平成21年度国際化拠点整備事業(グローバル30)に採択

「経済財政改革の基本方針2008」、「留学生30万人計画」を受け、平成21年度に新たに公募が行われていた「国際化拠点整備事業(グローバル30)」について、この度本学が提案した案件が採択されましたので、お知らせします。

(国際化拠点整備事業(グローバル30)概要)

国際化拠点整備事業(グローバル30)は、我が国の高等教育の国際競争力の強化及び留学生等に魅力的な水準の教育等を提供するとともに、留学生と切磋琢磨する環境の中で国際的に活躍できる高度な人材の養成を図ることを目的とし、各大学の機能に応じた質の高い教育と、海外の学生が日本に留学しやすい環境を提供する国際化拠点の形成に向けた取組を総合的に支援するプログラムです。

(本学の国際化拠点の構想の概要)

開学以来「研究第一」「門戸開放」を標榜する東北大学は、広く世界から意欲と能力を備えた俊秀を受け入れ、世界トップレベルの研究・教育を創造してきた。同時に、本学は、平成19年に策定された東北大学アクションプラン(井上プラン)のもと、世界リーディング・ユニバーシティにふさわしい、第一級の質の高い国際的教育環境の醸成に努めている。この計画の中核として本学が目指しているのは、「国際的な視野」「高度な教養と専門的知識」「確かな研究・実践能力」をあわせ持つ、地球規模で活躍する指導的人材の育成・輩出である。

東北大学は、12のグローバルCOE、世界トップレベル研究拠点(WPI)などを有する国際研究教育拠点であり、特に大学院レベルでの留学生の受入に高い実績をもつ。この卓越した研究水準に基づく質の高い専門教育を前提とした教育の国際化のさらなる進展が、本学の最重要課題である。

本構想においては、高い実績をもつ大学院教育の国際化を加速させ、高度な専門性を有し世界をリードできる人材を育成・輩出する。また、新たに学部教育において、基礎的な専門知識と直結した英語による授業のみで学位取得可能なコースを整備し、多彩な国際的学習機会を飛躍的に拡大、世界で活躍するのに十分な国際的学士力を養成する。

(本学における構想責任者)

東北大学 副学長 橋本 治

【本件問い合わせ先】

東北大学国際交流部留学生課 中尾・長田(電話:022-795-7776)